

令和 7 年度基金事業の事前評価結果

1. 事前評価結果集計表	1
2. 事前評価結果	
(1) 事業別	1
(2) 市町交付金（基本枠）事業 対策区分別	2
(3) 市町交付金（基本枠）事業 市町別	6
四日市市	6
桑名市	8
鈴鹿市	10
亀山市	12
いなべ市	14
木曽岬町	16
東員町	18
菰野町	20
朝日町	22
川越町	24
津市	26
松阪市	28
多気町	30
明和町	32
大台町	34
伊勢市	36
鳥羽市	38
志摩市	40
玉城町	42
度会町	44
大紀町	46
南伊勢町	48
名張市	50
伊賀市	52
尾鷲市	54
紀北町	56
熊野市	58
御浜町	60
紀宝町	62

1. 事前評価結果集計表

評価	評価点 合計	事業数		全委員	A 班	B 班	C 班
A	34.0≦X≦40.0	事業数 小計	0	0	0	0	0
		割合	0%	0%	0%	0%	0%
B	28.0≦X<34.0	事業数 小計	78	3	17	27	31
		割合	63%	100%	41%	69%	76%
C	22.0≦X<28.0	事業数 小計	43	0	21	12	10
		割合	35%	0%	51%	31%	24%
D	16.0≦X<22.0	事業数 小計	3	0	3	0	0
		割合	2%	0%	7%	0%	0%
E	10.0≦X<16.0	事業数 小計	0	0	0	0	0
		割合	0%	0%	0%	0%	0%
事業数 合計			124	3	41	39	41

2. 事前評価結果

(1) 事業別

事業名		評価点			評価
		事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業（事業総括）	23	5	28	B
②-ア	災害緩衝林整備事業	26	5	31	B
②-イ	土砂・流木緊急除去事業	24	5	29	B
③	災害に強い森林再生事業	21	5	26	C
④	森林情報基盤整備事業	23	6	29	B
⑤-ア	みえ森林教育ビジョン推進事業	24	7	31	B
⑤-イ	みえ森づくりサポートセンター運営事業	24	6	30	B
⑤-ウ	みえ森林教育ステーション運営・整備事業	24	6	30	B
⑥	みんなで取り組む三重の森づくり推進事業	24	5	29	B
⑦	生物多様性推進事業	23	5	28	B
⑧	森林とふれあう自然公園環境整備事業	23	5	28	B
⑨-ア-a	流域防災機能強化対策事業	25	5	30	B
⑨-ア-b	災害からライフラインを守る事前伐採事業	24	6	30	B
⑨-ア-c	県民参加の植樹祭事業	24	6	30	B
⑨-イ	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業	23	5	28	B
⑩	みえ森と緑の県民税制度運営事業	23	6	29	B

(2) 市町交付金（基本枠）事業 対策区分別

対策区分１：土砂や流木による被害を出さない森林づくり ※２市町２事業						
市町名	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
津市	1	林地残材搬出促進事業	23	6	29	B
大紀町	1	溪流倒木等処理事業	23	6	29	B

対策区分２：暮らしに身近な森林づくり ※20市町33事業						
市町名	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
四日市市	2	里山・竹林環境保全支援事業	22	4	26	C
鈴鹿市	2	暮らしを守る森林保全事業	24	5	29	B
いなべ市	2	危険木の除去事業	21	5	26	C
いなべ市	2	里山竹林環境保全支援事業	21	5	26	C
東員町	2	危険木伐倒等業務	18	3	21	D
菰野町	2	危険木伐採搬出事業	21	5	26	C
朝日町	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	21	5	26	C
松阪市	2	里山の森林安全安心対策事業	23	6	29	B
明和町	2	松林整備事業	20	4	24	C
大台町	2	集落周辺等危険木伐採事業	23	6	29	B
伊勢市	2	森林整備事業	24	5	29	B
伊勢市	2	危険木除去事業	23	5	28	B
鳥羽市	2	危険木伐採事業	24	6	30	B
鳥羽市	2	危険木伐採費補助金事業	25	6	31	B
鳥羽市	2	森林病虫害防除樹幹注入	25	6	31	B
志摩市	2	樹木伐採事業	21	4	25	C
志摩市	2	松くい虫防除事業	23	4	27	C
度会町	2	危険木伐採事業	23	6	29	B
大紀町	2	生活環境林整備事業	23	6	29	B
南伊勢町	2	危険木除去事業	23	5	28	B
名張市	2	危険木伐採事業	23	4	27	C
名張市	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	20	4	24	C
名張市	2	人家裏危険木伐採事業	21	5	26	C
名張市	2	森林公園等環境活用整備事業	23	5	28	B
伊賀市	2	みんなの里山整備活動推進事業	23	5	28	B
伊賀市	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	21	5	26	C
伊賀市	2	危険木伐採事業	24	4	28	B
尾鷲市	2	人家裏危険木伐採事業	23	5	28	B
尾鷲市	2	三木里海岸の松原整備事業１	23	5	28	B
尾鷲市	2	三木里海岸の松原整備事業２	22	5	27	C
紀北町	2	危険木伐採事業	24	5	29	B

対策区分２：暮らしに身近な森林づくり						
市町名	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
紀北町	2	集落周辺森林(里山) 整備事業	23	5	28	B
紀宝町	2	生活環境林整備事業	23	4	27	C

対策区分３：森を育む人づくり ※19市町34事業						
市町名	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
鈴鹿市	3	里山保全ボランティア育成事業	25	5	30	B
鈴鹿市	3	森と緑の生涯学習講座	25	5	30	B
鈴鹿市	3	森と緑の未来づくり事業	26	6	32	B
鈴鹿市	3	緑に親しむ記念樹配布事業	25	6	31	B
亀山市	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	27	5	32	B
亀山市	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	24	6	30	B
亀山市	3	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）	22	5	27	C
亀山市	3	森と木材のふれあい事業（小中学校）	25	6	31	B
亀山市	3	自然保育・森林環境教育推進事業（幼稚園・保育園）	24	5	29	B
いなべ市	3	中学校卒業記念品配布事業	21	5	26	C
いなべ市	3	自然環境保全事業	22	5	27	C
東員町	3	森林教育授業	24	3	27	C
朝日町	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	21	5	26	C
川越町	3	小中学校自然教室	23	5	28	B
津市	3	夏休み森と緑の親子塾開催事業	25	7	32	B
津市	3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	23	6	29	B
津市	3	美里水源の森「林業体験」事業	23	6	29	B
松阪市	3	松阪の木魅力発信活動事業	23	6	29	B
多気町	3	木とふれあう教育支援事業	24	8	32	B
大台町	3	森林環境教育事業①	21	6	27	C
大台町	3	森林環境教育事業②	23	6	29	B
志摩市	3	森と緑ふれあい事業	23	5	28	B
玉城町	3	森林環境教育・木育事業	23	4	27	C
玉城町	3	森林環境教育事業（森林教育イベント）	21	4	25	C
度会町	3	森林環境教育推進事業	25	8	33	B
南伊勢町	3	森林環境教育事業	23	4	27	C
名張市	3	森林環境教育推進事業	22	5	27	C
伊賀市	3	伊賀の森っこ育成推進事業	23	6	29	B
伊賀市	3	地域の森と緑のつながり支援事業	21	5	26	C
伊賀市	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	23	6	29	B
伊賀市	3	木づかい木育推進事業	23	6	29	B
尾鷲市	3	尾鷲ヒノキ等を活用した保育園児等への山育事業	24	7	31	B

対策区分3：森を育む人づくり						
市町名	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
紀北町	3	森林環境教育活動支援事業	23	6	29	B
紀宝町	3	森と緑の環境教育事業	23	5	28	B

対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり ※15市町22事業						
市町名	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
桑名市	4	多度学園木製品購入事業	17	4	21	D
鈴鹿市	4	公立保育所木製品設置事業	19	4	23	C
東員町	4	公共施設等の備品等購入	17	3	20	D
菰野町	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	19	4	23	C
菰野町	4	保育所等木製遊具購入補助事業	18	4	22	C
菰野町	4	木と触れ合う環境整備事業	20	4	24	C
川越町	4	森と人をつなぐ学びの場整備事業	18	5	23	C
津市	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	23	6	29	B
津市	4	保育施設における木育環境整備事業	23	5	28	B
松阪市	4	森林環境学習事業	25	6	31	B
松阪市	4	保育園木育推進事業	24	6	30	B
多気町	4	木とふれあう環境づくり事業	25	6	31	B
明和町	4	木とのふれあい事業	23	5	28	B
明和町	4	幼児期からの木とのふれあい事業	23	5	28	B
鳥羽市	4	鳥羽東中学校図書室机・椅子等整備事業	22	5	27	C
南伊勢町	4	木製品購入事業	23	4	27	C
名張市	4	学校林整備事業	23	5	28	B
名張市	4	子ども若者第三の居場所創生事業	21	5	26	C
伊賀市	4	保育所木育推進事業	24	6	30	B
尾鷲市	4	木とふれあう学校環境づくり事業	25	7	32	B
尾鷲市	4	みえ森林教育ステーションを活用した木育事業	21	5	26	C
熊野市	4	木育環境充実事業	25	4	29	B

対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり ※12市町17事業						
市町名	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
桑名市	5	播磨2号緑地里山整備事業	22	4	26	C
桑名市	5	竹林環境整備事業	21	4	25	C
鈴鹿市	5	ふるさとの樹木（名木古木）保存活用補助事業	26	4	30	B
鈴鹿市	5	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	24	4	28	B
亀山市	5	野登山森林保全事業（森林づくり協議会）	26	5	31	B
木曽岬町	5	暮らしを守る緑保全事業	20	5	25	C

対策区分 5：地域の身近な水や緑の環境づくり						
市町名	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
菰野町	5	シデコブシ湿地群環境整備事業	19	3	22	C
朝日町	5	教育文化施設ビオトープ再生整備事業	18	5	23	C
松阪市	5	都市公園整備事業	23	5	28	B
大紀町	5	大平つつじ山整備事業	21	5	26	C
名張市	5	桜並木保全管理事業	23	5	28	B
名張市	5	国定公園環境整備事業	23	4	27	C
尾鷲市	5	馬越公園整備事業	23	5	28	B
尾鷲市	5	中村山公園ほか整備事業	23	5	28	B
熊野市	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	25	5	30	B
御浜町	5	森林公園等環境整備事業	24	4	28	B
御浜町	5	イヌマキ保全事業	23	4	27	C

(3) 市町交付金（基本枠）事業 市町別

第10号様式（その1）（評価委員会資料）

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

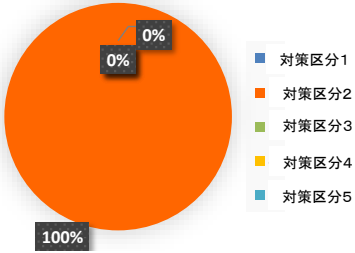
市町名	四日市市	三重県
人口（人）	305,424	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.9％	11.6％
森林面積(ha)	2,805.64	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	2,497.56	348,561.87
森林率(%)	14％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.3	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	里山・竹林環境保全支援事業	2,318,530	1,714,000		1,714,000				
				0						
計			2,318,530	1,714,000	0	1,714,000	0	0	0	0

3. 令和7年度みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は、東側に伊勢湾、西側に鈴鹿山脈に接し伊勢湾沿いには石油化学工業等の発達した中核都市です。四日市市総合計画の基本構想で「環境・防災先進都市」を将来都市像の一つに位置付けており、公害の歴史と教訓から、豊かな環境を基本とした都市整備と、防災力強化を両軸に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指しています。 みえ森と緑の県民税市町交付金を活用することにより、地域の里山や竹林を整備し、緑にふれあう環境を整えることで、森への関心を深め、緑を身近に感じ大切にしていける社会づくりを推進します。
事業実施により期待される効果	森林整備を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保された。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るためHPに掲載を行う予定。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・事業が一つであるが、多様な取り組みは納税者の意に沿うのではないかな？	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	里山・竹林環境保全支援事業	22	4	26	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

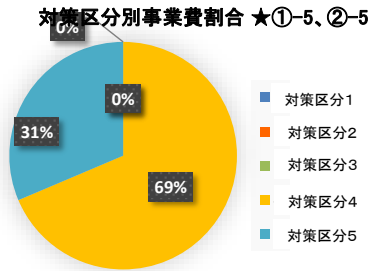
1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

市町名	桑名市	三重県
人口（人）	138,613	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	12.4%	11.6%
森林面積(ha)	2,960.03	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	2,871.36	348,561.87
森林率(%)	22.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.4	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	4	多度学園木製備品購入事業	162,074,000	12,530,000				12,530,000		
2	5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000	534,000					534,000	
3	5	竹林環境整備事業	5,341,944	5,198,000					5,198,000	
計			167,949,944	18,262,000	0	0	0	12,530,000	5,732,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	里山整備による緑と身近にふれあう環境づくりや、竹林整備を実施する団体に対する補助、学生向けの森林環境教育を通じて、市内の森林・緑地の安全管理を促進し、防災、自然環境保護、獣害対策等に繋げることで、市民の豊かな生活に寄与する。 県民税の活用による環境整備を推進し、地域住民や緑地利用者に森林への関心を持っていただくことで、県民全体で森林を支える社会づくりを推進するとともに、県民税がどの様に県民の暮らしに役立てられているかを広報等によって周知を行う。
事業実施により期待される効果	事業実施により、地域住民や公園利用者、児童、生徒に森林を身近に感じていただくことで、森林の持つ機能や、森林整備の必要性についての理解を深めてもらう。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税の活用方法について広報誌とホームページにより周知を実施し、「災害に強い森林づくり」や「県民全体で森林を支える社会づくり」については、パネル展示を実施。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・ホタルのように印象深い対象がより一層あると好ましい。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	4	多度学園木製備品購入事業	17	4	21	D
2	5	播磨2号緑地里山整備事業	22	4	26	C
3	5	竹林環境整備事業	21	4	25	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

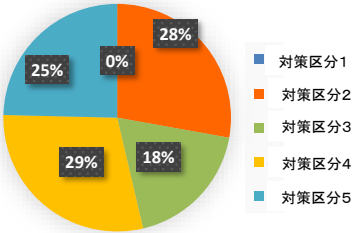
市町名	鈴鹿市	三重県
人口（人）	195,670	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.2%	11.6%
森林面積(ha)	3,597.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	3,421.00	348,561.87
森林率(%)	18.5%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.6	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	暮らしを守る森林保全事業	4,521,000	4,521,000		4,521,000			
2	3	里山保全ボランティア育成事業	380,868	375,000			375,000		
3	3	森と緑の生涯学習講座	560,000	560,000			560,000		
4	3	森と緑の未来づくり事業	1,422,440	1,422,440			1,422,440		
5	3	緑に親しむ記念樹配付事業	649,000	649,000			649,000		
6	4	公立保育所木製品設置事業	6,465,800	4,717,070				4,717,070	
7	5	ふるさとの樹木（名木古木）保存活用補助事業	2,600,000	2,600,000					2,600,000
8	5	緑と人を育む 長太の大楠（なごのおおくす）再生プロジェクト	1,400,000	1,400,000					1,400,000
計			17,999,108	16,244,510	0	4,521,000	3,006,440	4,717,070	4,000,000

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	103本	11,888,360	5,944,180	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採。
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈があり、市の中央には鈴鹿川が流れる、豊かな自然環境の下で発展してきた都市です。この恵まれた自然環境は、市民生活や経済活動に多大な恩恵をもたらしており、美しい風景や豊かな生態系は、本市にとって貴重な財産であるともいえます。このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、市民に親しまれている海岸林の保全や、利用頻度の高い公共施設等への県産材利用を通じ、多くの市民が森林の恩恵を享受することができ、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する事業を進めていきます。
事業実施により期待される効果	子どもを中心とした市民を対象に、森林について学ぶ場や緑や木にふれあう機会を提供することにより、森や緑の大切さや森林環境への理解を深めることができ、森林づくりに積極的に関わる人材の増加が期待できる。地域にある身近な緑や里山を大切にすることは、自然環境とふれあう場の確保に繋がり、自然と共生する意識がうまれる。また、人家周辺の森林や樹木を適切に管理することで市民の暮らしの安心・安全を確保することができる。
情報発信への取組	本市におけるみえ森と緑の県民税の活用について、市広報への記事の掲載を行うことで市民への周知を図った。また、事業実施の際は、県民税のばりやロゴマークを掲出するなどして、みえ森と緑の県民税活用事業であることの周知に努め、啓発物品を配布することで、みえ森と緑の県民税制度の理解を深めてもらえるよう取り組んだ。県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての展示を市民ギャラリーにて実施し、来庁者への情報発信を行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・多様かつ工夫のある取り組みを今後も継続していただければと思う。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	暮らしを守る森林保全事業	24	5	29	B
2	3	里山保全ボランティア育成事業	25	5	30	B
3	3	森と緑の生涯学習講座	25	5	30	B
4	3	森と緑の未来づくり事業	26	6	32	B
5	3	緑に親しむ記念樹配布事業	25	6	31	B
6	4	公立保育所木製品設置事業	19	4	23	C
7	5	ふるさとの樹木（名木古木）保存活用補助事業	26	4	30	B
8	5	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	24	4	28	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧による）

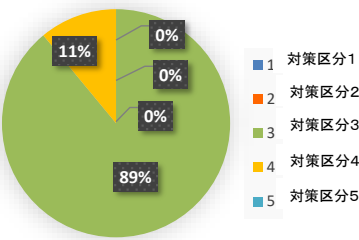
市町名	亀山市	三重県
人口（人）	49,835	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	12.1%	11.6%
森林面積(ha)	12,013.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	11,659.00	348,561.87
森林率(%)	63.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.4	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	1,000,000	1,000,000			1,000,000		
2	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	498,300	498,300			498,300		
3	3	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）	3,000,000	3,000,000			3,000,000		
4	3	森と木材のふれあい事業（小中学校）	6,549,400	4,201,700			4,201,700		
5	3	自然保育・森林環境教育推進事業（幼稚園・保育園）	240,000	200,000			200,000		
6	5	野登山森林保全事業	1,100,000	1,100,000				1,100,000	
計			12,387,700	10,000,000	0	0	8,900,000	1,100,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.14ha	3,740,000	1,870,000	亀山市関町小野字上門田67-3
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は、北勢地域随一の林業地帯として古くからスギ・ヒノキを主とした人工林の整備が進められ、良質な木材の生産・供給が行われてきました。しかし、林業を取り巻く情勢は厳しく、採算性の悪化、高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいます。このため、既存の財源を活用し、林業生産活動の支援や地域材を活用した商品を「亀山ブランド」として認定することで森林整備や地域材の利用促進に取り組んでいます。今後も、森林の有する様々な働きを発揮させるための森林整備や地域材の利用を促進するためには、市民の森林に対する理解と関心を深めることが大切です。このことから、県民税を活用し、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることや、暮らしに身近な森林整備を進め、地域の生活環境の向上を図ります。
事業実施により期待される効果
・協議会が工夫を凝らしイベントや講座を開催することで多様な参加者が森林とふれあう場を提供できる。 ・森の講座において森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることで市民の森林に対する理解と関心を深める。 ・森林公園やまびこの施設整備等を行うことで、子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができることと、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を提供できる。 ・亀山市産の竹あかりを通じて、地域住民が竹の魅力に触れることをきっかけに、荒廃しつつある竹林の現状に対する問題意識を高める。 ・各小中学校を訪問し、小学6年生と中学1年生の生徒全員に対し広範囲に実施することにより、詳細で丁寧な木工教室や工作を実施し木材に親しむ機会が設けられた。
情報発信への取組
・事業実施時に看板やのぼり旗の掲示、パネル展示(図書館展示室、市庁舎通路前)、県民税のアンケート実施、HPや市広報誌への掲載。 ・事業実施時にパンフレットや啓発物品を配付し、県民税の説明を行った。 ・イベント時に県民税ロゴマークを表示したスタッフベストを着用し活動した。 ・導入木製品に県民税ロゴマークの焼印やシールを添付し、事業終了後も市民の目に触れ県民税を周知できるようにした。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・多様かつ工夫のある取り組みを今後も継続していただければと思う。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	27	5	32	B
2	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	24	6	30	B
3	3	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）	22	5	27	C
4	3	森と木材のふれあい事業（小中学校）	25	6	31	B
5	3	自然保育・森林環境教育推進事業（幼稚園・保育園）	24	5	29	B
6	5	野登山森林保全事業（森林づくり協議会）	26	5	31	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

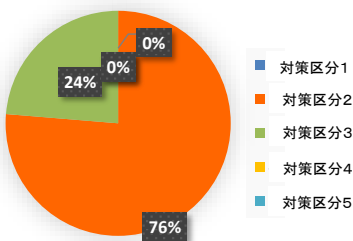
市町名	いなべ市	三重県
人口（人）	44,937	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	12.1%	11.6%
森林面積(ha)	12,794.45	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	11,724.89	348,561.87
森林率(%)	58%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8.2	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木の除去事業	3,614,638	3,614,638		3,614,638				
2	2	里山竹林環境保全支援事業	5,275,652	5,275,652		5,275,652				
3	3	中学校卒業記念品配布事業	914,650	914,650			914,650			
4	3	自然環境保全事業	2,365,000	1,845,060			1,845,060			
				0						
計			12,169,940	11,650,000	0	8,890,290	2,759,710	0	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	いなべ市は北部と西部を岐阜県と滋賀県に接し、東部と南部は桑名及び四日市圏域に接している。市域は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいだし、市のほぼ中央に流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれている。 緑豊かないなべ市でみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらい、森林・木材の意義、大切さを再認識してもらう。また豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指し、整備が進んでいない森林を整備することにより、安心・安全な暮らしを確保する。
事業実施により期待される効果	間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことができ、将来的に持続可能な素材を選べる人づくりに繋がることが期待される。また、住民自らが危険木除去を行うことで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。里山竹林環境保全支援事業では補助金を交付することで、活動範囲の拡大・活動内容の向上を図ることができ、市内の里山整備促進が期待できる。
情報発信への取組	市HPにおいて、みえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真と共にわかりやすくPRしている。中学校卒業記念品配布事業では、生徒にメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。危険木除去事業では市内自治会長に事業案内文書を送付することや走道路管理担当課からの情報発信をすることで、みえ森と緑の県民税を活用して周辺住民の生活の安全を確保し、暮らしに身近な森林づくりに寄与していることを伝えている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・ボランティアや障がい者らとの協働を今後も継続していただければと思う。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	危険木の除去事業	21	5	26	C
2	2	里山竹林環境保全支援事業	21	5	26	C
3	3	中学校卒業記念品配布事業	21	5	26	C
4	3	自然環境保全事業	22	5	27	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

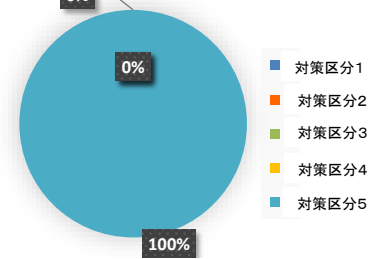
市町名	木曽岬町	三重県
人口（人）	6,023	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	8.6%	11.6%
森林面積(ha)	0.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,561.87
森林率(%)	0.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.6	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	暮らしを守る緑保全事業	7,025,700	7,000,000					7,000,000	
				0						
計			7,025,700	7,000,000	0	0	0	0	7,000,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	木曽川の河口部に位置する当町は森林率が0％と、日常生活の中で森林にふれあう機会がなく町内の鍋田川線桜並木は、重要な観光資源であると同時に地域住民が緑にふれあい自然環境の大切さを知る貴重な場となっております。これらを踏まえ、鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの被害から守るため、防除業務や被害木の伐採を行って被害防止対策を実施しました。
事業実施により期待される効果	鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの被害から守るため、全木を対象にした調査と台帳整備、樹幹注入を行うことでクビアカツヤカミキリの被害低減を狙い、地域住民や道路利用者の安全確保と貴重な自然環境の保護につながることが期待できる。
情報発信への取組	町イベント時に防除業務の内容と目的を掲示し、町民に対し県民税が安全や自然環境の保全に役立てられていることをPRしたほか、庁舎内ポスター掲示などでも同内容を紹介し、より多くの人の目に留まるよう取り組んでいる。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・森林率ゼロであるので、将来にわたり水源の確保を意識されるとよいのではないだろうか？	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	5	暮らしを守る緑保全事業	20	5	25	C

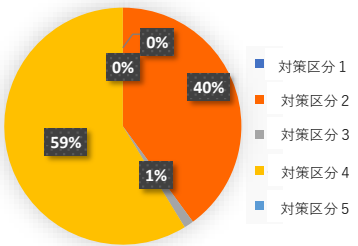
令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

市町名	東員町	三重県
人口（人）	25,784	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	13.7%	11.6%
森林面積(ha)	153.78	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	153.78	348,561.87
森林率(%)	7%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	15.5	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐倒等業務	2,854,500	2,515,890		2,515,890				
2	3	森林教育授業	83,490	83,490			83,490			
3	4	公共施設等の備品等購入	3,700,620	3,700,620				3,700,620		
				0						
計			6,638,610	6,300,000	0	2,515,890	83,490	3,700,620	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	112本	5,200,000	2,600,000	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採。
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町では、北部を中心に名古屋や四日市といった近郊都市部のベッドタウンとして開発が進み、現在森林率が8%程度と森林が少なく、また各地に分散している状況ですが、森林は地域住民の憩いの場として日常的に活用されてきました。 このため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備を進め、地域住民が安全に安心して地域の里山にふれ、森や木の大切さへの理解を深める取組を進めていきます。 また、小学校による森林教育授業においては森林の機能や大切さを学ぶことにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養っていきます。 その他、教育施設及び福祉施設において木質製品などを取り入れることにより、児童や地域住民が木に触れ合う機会を創出していきます。
事業実施により期待される効果	森林環境の保全及び地域住民の森林への意識の醸成が図られた。現地（民家裏等）での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。
情報発信への取組	工事看板に「みえ森と緑の県民税交付金事業」にて実施していることを表記し、自治会での施工周知説明時に事業の概要についても説明を行った。また、購入した備品等に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し周知を図るとともに、町のホームページや広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・NPOらとの協働を今後も継続していただければと思う。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	危険木伐倒等業務	18	3	21	D
2	3	森林教育授業	24	3	27	C
3	4	公共施設等の備品等購入	17	3	20	D

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

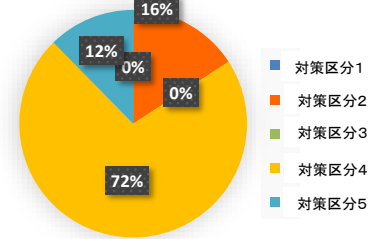
市町名	菰野町	三重県
人口（人）	40,559	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	13.6%	11.6%
森林面積(ha)	5,313.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	5,237.00	348,561.87
森林率(%)	50.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	4.5	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採搬出事業	771,000	771,000		771,000			
2	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	1,524,803	1,502,033				1,502,033	
2	4	保育所等木製遊具購入補助事業	1,500,000	1,500,000				1,500,000	
2	4	木と触れ合う環境整備事業	495,000	495,000				495,000	
3	5	シデコブシ湿地群環境整備事業	601,700	601,700					601,700
				0					
計			4,892,503	4,869,733	0	771,000	0	3,497,033	601,700

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.08ha 16本伐採	1,389,258	694,629	菰野町菰野地内において事前伐採16本（補償費含）
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	菰野町は、鈴鹿山脈の麓に位置する自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、湯の山温泉や御在所ロープウェイなど、四季折々の自然を満喫できる観光スポットを有しており、多くの観光客が訪れます。このような中で、みえ森と緑の県民税を活用し、基本方針でもある「災害に強い森林づくり」の推進のため、病虫害や松枯れなど、倒木の恐れがある危険木の除去を進めることで、地域住民の安全な生活環境を守るとともに、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進のため、当町の森林資源を活用して地域住民や当町を訪れる人が地元の森林環境の魅力を感じ、自然環境保全の大切さや森林資源活用の意義について考え、学ぶ場の整備を進めます。
事業実施により期待される効果	公共の道路に倒木の可能性がある又はライフラインに支障を与える可能性がある危険木を事前伐採することにより、通行者に対する安全の確保及び電線断線の危険の排除ができ、また、病虫害による被害拡散を防止することで地域住民の安全な生活環境の保全に繋がっている。 また町内幼保園や子育て支援センターで使用する遊具や家具を購入することにより、施設利用者やその保護者に活用していただいております、菰野町を含めた森林環境の魅力を感じ、木材活用の大切さを学ぶ貴重な場となっている。
情報発信への取組	伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。木育推進事業においては、購入した家具・遊具に対して、焼き印もしくはシールによりロゴを入れて、みえ森と緑の県民税を活用していることを周知している。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・木製品配布は雇用も生み出すため意義は高いが、配布型に終わらせない工夫があってもよいと思う。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	危険木伐採搬出事業	21	5	26	C
2	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	19	4	23	C
3	4	保育所等木製遊具購入補助事業	18	4	22	C
4	4	木と触れ合う環境整備事業	20	4	24	C
5	5	シデコブシ湿地群環境整備事業	19	3	22	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

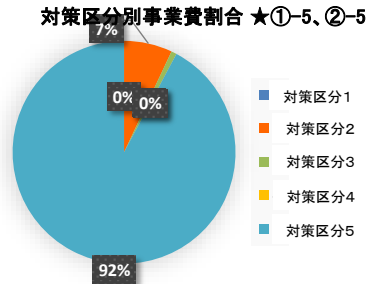
1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

市町名	朝日町	三重県
人口（人）	11,140	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	17.5％	11.6％
森林面積(ha)	63.21	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	63.21	348,561.87
森林率(％)	11.0％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	2.1	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	599,208	450,000		450,000			
2	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	74,513	50,000			50,000		
3	5	教育文化施設ビオトープ再生整備事業	6,789,200	5,922,000					5,922,000
計			7,462,921	6,422,000	0	450,000	50,000	0	5,922,000

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	当町は三重県一小さい自治体であり森林面積も約63haと狭小であるが、63haの25%に当たる約16haが竹林であり、竹林割合の高さでは県内一である。また、人口が増加し続け子どもが多い若い町であり年少人口（15歳未満人口）割合も県内一である。 これらの特徴を踏まえ、町と町民により適正に管理された竹林・里山・緑地や、そこから生み出される生産物等を通じ、若年層や親子が森や緑と親しめる取り組みに県民税を活用することで、竹林・里山・水辺が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。 その実現のため、あさひ竹プロジェクトの一環として、町民による自主的な竹林・里山整備を支援する「里山・竹林環境保全支援事業」、竹を使った様々な体験・学びの場を創出する「森林環境教育事業」を実施する。また、町民が身近な水辺空間を楽しみ、生物多様性に係る認識を深めることを目指す「教育文化施設ビオトープ再生整備事業」を実施する。
事業実施により期待される効果	この事業実施により、町民が自然環境の保護に積極的に参加し、竹林や里山の整備が進むとともに、朝日町教育文化施設内のビオトープの再生が進みます。この取り組みにより、地域住民の環境意識が高まり、持続可能な地域づくりが促進されます。ビオトープの再生は、身近な自然空間としての価値を高め、生物多様性の保全に貢献するとともに、次世代への環境教育が進みます。また、竹林や里山の再生と合わせて、地域コミュニティの強化が図られ、住民にとって快適で親しみやすい生活空間が提供されることが期待されます。
情報発信への取組	町の広報紙等を通じた一般的なPRを実施した。また、パネル展の来場者に対してアンケートを実施し、みえ森と緑の県民税の存在を周知することができた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・竹の粉碎機の貸し出しなど、ニーズを捕らえていると考えられる。今後も納税者のニーズを掘り起こしていただきたい。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	21	5	26	C
2	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	21	5	26	C
3	5	教育文化施設ビオトープ再生整備事業	18	5	23	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

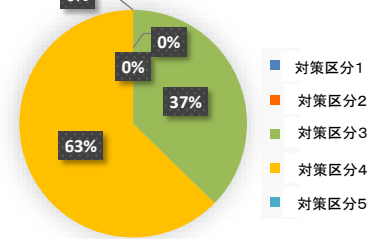
市町名	川越町	三重県
人口（人）	15,659	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	13.6%	11.6%
森林面積(ha)	0.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,561.87
森林率(%)	0.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.3	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	小中学校自然教室	3,228,106	1,620,000			1,620,000			
2	4	森と人をつなぐ学びの場整備事業	2,887,500	2,722,000				2,722,000		
				0						
計			6,115,606	4,342,000	0	0	1,620,000	2,722,000	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
当町は三重県の北部に位置し、北は員弁川、東は伊勢湾に臨む地形であり森林を有していない町です。 人口は増加しており、年少人口割合は県平均を上回っている状況にあります。この状況において、学校施設への木製備品の設置や自然の中で森林や木材について学ぶ機会をもつことで、森林や緑を大切に思い育む人づくりを進めます。また、公共施設の木質化を通じて、町民が森林や木材について、学びふれあう場を提供することで森林教育を行います。
事業実施により期待される効果
緑豊かな環境の中で、集団生活を通じ学校生活における「仲間づくり」や「信頼関係」の土台を築き、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ機会を増加させることができる。また、身近な公共施設への県産材の使用や、学校で木製品に触れることにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に感じることができ、木材利用に対する理解や関心が深まる。
情報発信への取組
学校だよりや学年通信を活用し、自然教室を通じた子供の成長や取組について、情報を提供した。 また、町HPを活用し、みえ森と緑の県民税市町交付金の活用実績について、情報発信した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・それぞれの市町の実情に沿った活動をされていると感じます。ただ、以下の点につきまして、さらにご検討いただければと思います。 【事業の有効性】 事業の目的がどの程度達成されたかを検証していただき、今後に生かしていただく仕組みを考えていただければと思います。 【情報発信】 単に県民税を活用していることにとどまらず、事業と「2つの基本方針」との関連性まで発信していただければと思います。また、情報発信された方法の有効性についても検証いただければと思います。 ・森林率ゼロであるので、将来にわたり水源の確保を意識されるとよいのではないだろうか？	

6. 事業別評価表

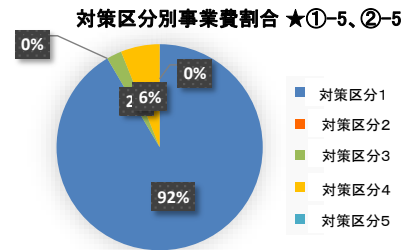
番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	3	小中学校自然教室	23	5	28	B
2	4	森と人をつなぐ学びの場整備事業	18	5	23	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧及び令和6年度版森林・林業統計書による）

市町名	津市	三重県
人口（人）	265,115	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.3%	11.6%
森林面積(ha)	41,532.42	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	40,791.91	348,561.87
森林率(%)	58.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7.9	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	1	津市林地残材搬出促進事業	24,028,100	24,028,100	24,028,100				
2	3	夏休み森と緑の親子塾開催事業	257,400	257,400			257,400		
3	3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	124,096	124,096			124,096		
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	242,000	242,000			242,000		
5	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	886,600	886,600				886,600	
6	4	保育施設における木育環境整備事業	715,000	715,000				715,000	
計			26,253,196	26,253,196	24,028,100	0	623,496	1,601,600	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	27.26ha	19,074,000	19,070,000	特定水源地域の森林の調整伐
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採220本	10,085,622	5,042,811	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	・本市の森林面積は、総面積711km²の58.4%にあたる415km²を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。 ・上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々にターゲットとした森林環境教育事業、木育環境整備事業等を併せて進めていく。
事業実施により期待される効果	・林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が期待できる。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 ・直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。 ・木育ができる環境整備を行い、木に触れあっていただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木づかいに興味関心を持ってもらう機会となった。
情報発信への取組	・事業実施個所については、県民税のぼり旗により啓発を行った。 ・県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。 ・森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まると林業体験」は広報津やLINE配信を活用し、広く募集に関する周知を図った。 ・アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。 ・市町交付金事業のパネルやポスターを庁舎内に掲示し、PRを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	1	林地残材搬出促進事業	23	6	29	B
2	3	夏休み森と緑の親子塾開催事業	25	7	32	B
3	3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	23	6	29	B
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	23	6	29	B
5	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	23	6	29	B
6	4	保育施設における木育環境整備事業	23	5	28	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

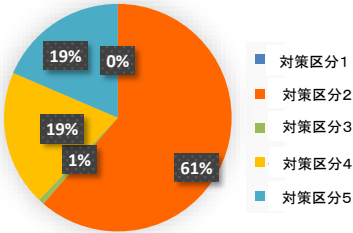
市町名	松阪市	三重県
人口（人）	152,234	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.4%	11.6%
森林面積(ha)	42,729	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	41,341.14	348,561.87
森林率(%)	68.5%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	14.3	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	里山の森林安全安心対策事業	15,298,800	15,199,900		15,199,900			
2	3	松阪の木魅力発信活動事業	617,000	200,000			200,000		
3	4	森林環境学習事業	2,773,100	2,773,100				2,773,100	
4	4	保育園木育推進事業	3,189,527	2,000,000				2,000,000	
5	5	都市公園整備事業	5,526,400	4,600,000					4,600,000
計			27,404,827	24,773,000	0	15,199,900	200,000	4,773,100	4,600,000

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	2.2ha	20,179,504	10,000,000	予備調査・事前伐採・立木補償
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく5つの事業を実施した。 1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。 2. 松阪の木魅力発信活動事業…松阪地域の林業、木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が開催する、学校等における木育や森林教育イベントの活動補助等を実施。 3. 森林環境学習事業…松阪市内小学校を対象に森林環境教育を実施。 4. 保育園木育推進事業…市内の保育園の備品を木質化し、森林や木材について学び、幼少期より木との関係を深める。 5. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産材を使用した東屋を設置し、利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に、森林、緑、水辺の自然と親しむ環境整備を実施。
事業実施により期待される効果
里山の森林安全安心対策事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。
情報発信への取組
森林整備・都市公園整備遂行にあたり、県民税のPRチラシ及び啓発品配布や松阪市HPにより積極的な啓発を行っている。 森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上において、情報を発信し、また、事業実施後にSNS(インスタグラム)において情報発信した。 松阪の木魅力発信活動事業については、事業実施後にSNS(インスタグラム)において情報発信した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・バランスの良い事業展開だと思いました。今後も有効な活用をお願いします。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	里山の森林安全安心対策事業	23	6	29	B
2	3	松阪の木魅力発信活動事業	23	6	29	B
3	4	森林環境学習事業	25	6	31	B
4	4	保育園木育推進事業	24	6	30	B
5	5	都市公園整備事業	23	5	28	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

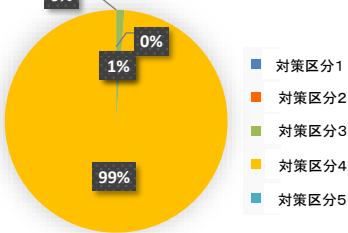
市町名	多気町	三重県
人口（人）	13,538	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.8％	11.6％
森林面積(ha)	5,915.33	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	5,915.33	348,561.87
森林率(％)	57.0％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	24.5	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	3	木とふれあう教育支援事業	96,800	96,000			96,000		
2	4	木とふれあう環境づくり事業	8,096,000	8,084,000				8,084,000	
				0					
計			8,192,800	8,180,000	0	0	96,000	8,084,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7.83ha	3,100,900	3,000,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業（伐採調査）	0.319ha	21,324,600	10,500,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業（伐採施工）	0.685ha			

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57％を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施されるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化に伴い維持管理が難しい状況であり、森林の荒廃、里山では竹林の増加といった問題がある。そのため、県民税を利用し、地域住民に木に触れる機会を提供し、森林の役割について理解を促すことを目的に事業を実施する。
事業実施により期待される効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心が高まり、また多くの地域住民が集まる公共野外施設「ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場）」に木製施設を配置したことにより、利用する多くの方に木の素晴らしさを実感してもらうことで、木材への親近感を深め「県民全体で森林を支える社会づくり」に貢献できる。 また、危険木を実践に伐採することにより、「災害に強い森林づくり」を実施することで、より安全・安心した住民生活を送ることができる。
情報発信への取組	多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活が送ることができるということを広報誌等で情報発信した。 また、小学校への木製備品の導入配置については、児童だけでなく保護者様への周知のため学校通信等で周知を行った。 保育園の木製備品（書架）の導入後に、森林に関する絵本の読み聞かせを行うことで、未就学児に対して森林への親しみを深めるとともに、その様子を保護者様への通信へ掲載いただくことで、情報発信を行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・有効な事業が多いように思われ、今後も有効に活用していただきたいと思いました。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	3	木とふれあう教育支援事業	24	8	32	B
2	4	木とふれあう環境づくり事業	25	6	31	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

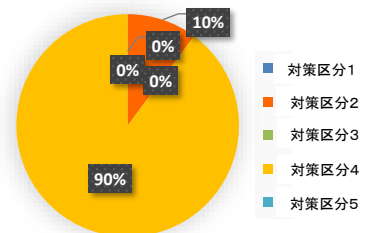
市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,215	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	12.9%	11.6%
森林面積(ha)	311.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	311.00	348,561.87
森林率(%)	8.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.2	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	松林整備事業	1,782,000	1,680,000		1,680,000			
2	4	木とのふれあい事業	5,346,000	5,200,000				5,200,000	
3	4	幼児期からの木とのふれあい事業	9,658,000	9,658,000				9,658,000	
計			16,786,000	16,538,000	0	1,680,000	0	14,858,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87ha（うち防風保安林は18.90ha）存在する。そのうち、マツの面積が210.24haであり、その占める割合は67.6%であり県平均（7.9%）よりかなり高い値となっている。しかし、松くい虫被害等により森林の持つ公益的機能の低下が懸念されることから、本町においては次に挙げる事業を行う。 「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役割及び景観を保持するため、松林の継続的な保護に取り組み、また、地域住民及び観光客の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として小学生のみでなく、多くの地域の方に三重県産材の備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を創出する。
事業実施により期待される効果	事業1について、南海トラフ地震発生時に懸念されている津波の影響を緩和する防災林（防風林）としての役割を維持するとともに、キャンプ場、観光地としての景観保持を行い、憩いの場を創る。 事業2について、日常的に使用する机・椅子に県産材を利用することで、木質の良さや温かさを実感してもらう。 事業3について、日常的に使用する遊具等に県産材を利用することで、未就学児に対しても木質の良さや温かさを実感してもらい、その後の森林教育につなげていく。
情報発信への取組	取組内容について町のホームページに掲載するほか、文書や学校だより等に掲載することで関係者への周知を図るとともに、事業2・3においては導入する備品に焼印等でロゴマークを印字すること等で、みえ森と緑の県民税のPRを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・重要な取組が多く、ネットによる発信も行っており、引き続き同様をお願いしたいと思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	松林整備事業	20	4	24	C
2	4	木とのふれあい事業	23	5	28	B
3	4	幼児期からの木とのふれあい事業	23	5	28	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧、令和6年度版森林・林業統計書による）

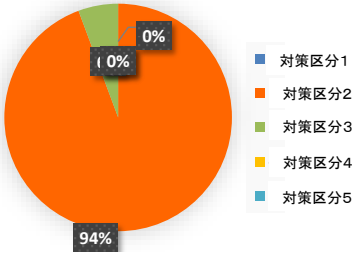
市町名	大台町	三重県
人口（人）	7,984	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	8.7%	11.2%
森林面積(ha)	33,739.64	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	27,920.82	348,212.01
森林率(%)	93.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0	11

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	集落周辺等危険木伐採事業	12,130,800	12,000,000		12,000,000				
2	3	森林教育事業①	481,800	450,000			450,000			
3	3	森林教育事業②	281,600	270,000			270,000			
				0						
計			12,894,200	12,720,000	0	12,000,000	720,000	0	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	45.33ha	25,037,100	23,190,000	間伐（災害緩衝林及び環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.0ha	36,849,387	18,089,000	危険木伐採1,012本
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
・大台町は三重県最高峰の大台ヶ原山を有し、三重県一の森林率を有する自然豊かな地域であり、豊かな生態系や生物多様性を守りながら持続可能な発展を目指している地域として、ユネスコエコパークに登録されています。日本有数の多雨地域で上流域は1,000m級の山々が囲む急峻な地形となっており、過去に集中豪雨で大規模な土砂災害が発生する苦い経験をしました。このような自然災害に備え「みえ森と緑の県民税」を活用した災害に強い森林づくりをし、地域住民の安全を確保し、自然と共生する地域社会を形成します。 ・森を育む人づくりとして、地元学生を対象に森林が持つ生物多様性と自然の循環について学習し自己啓発を促すことにより森林林業の担い手のきっかけづくりを推進し、地元児童に木材と触れ合う機会を作り、森林の大切さを学び自然環境を大切にする心を育む人づくりを推進します。
事業実施により期待される効果
災害に強い森林づくりとして、集落周辺等危険木伐採事業、流域防災機能強化対策事業、災害からライフラインを守る事前伐採事業を実施し、道路沿いや集落裏等の危険木を伐採することで、通学路や生活道路といった地域住民の安全な生活環境を確保し、交通障害や停電被害の減少と孤立集落の発生を予防します。 森を育む人づくりとして森林環境教育を実施し、地域の特色であるユネスコエコパークの自然と共生する社会を、木と触れあい森林の大切さを学び循環する自然環境を大切にする心を育む人づくりをします。
情報発信への取組
全ての事業において、事業実施時にのぼり旗の設置、事業終了後は、広報誌、ホームページへ掲載し情報を発信しました。 森林教育においては、記者クラブへ情報発信を行い、ケーブルテレビや新聞記事で放送や記事が掲載されました。 学校が発信するSNS（インスタグラム）に投稿されました。 どんとこい大台祭りの森林課ブースで県民税のパネル展示と緑の募金活動を実施しました。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・有効な活用をしてくださっていると感じました。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	集落周辺等危険木伐採事業	23	6	29	B
2	3	森林環境教育事業①	21	6	27	C
3	3	森林環境教育事業②	23	6	29	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

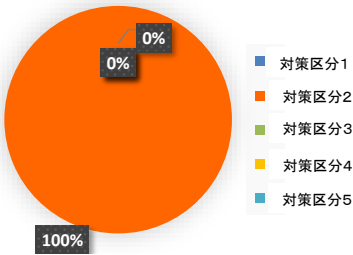
市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	117,928	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	11.1%	11.6%
森林面積(ha)	10,959.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	10,959.00	348,561.87
森林率(%)	52.6%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.7	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	森林整備事業	7,975,000	7,975,000		7,975,000			
2	2	危険木除去事業	8,577,800	6,368,000		6,368,000			
				0					
計			16,552,800	14,343,000	0	14,343,000	0	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	
①森林整備事業	伊勢市の沿岸部には防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから病虫害被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。
②危険木除去事業	市内にある三郷山、音無山等に残存している危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境を提供す
事業実施により期待される効果	
①病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。	
②三郷山、音無山等にある危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安心・安全な環境の提供を図ることが出来た。	
情報発信への取組	
①施工期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。	
②施工期間中は現地にのぼり旗を設置している。また、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。	

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（3 2）	情報発信（8）	合計（4 0）	
1	2	森林整備事業	24	5	29	B
2	2	危険木除去事業	23	5	28	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

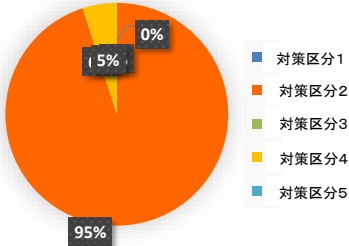
市町名	鳥羽市	三重県
人口（人）	15,746	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	7.9%	11.6%
森林面積(ha)	7,453	372,030
民有林面積(ha)＊2	7,453	348,562
森林率(%)	69%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.7	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採事業	2,441,000	2,441,000		2,441,000			
2	2	危険木伐採費補助金事業	5,479,000	5,479,000		5,479,000			
3	2	森林病害虫防除樹幹注入	499,000	499,000		499,000			
4	4	鳥羽東中学校図書室机・椅子等整備事業	440,000	440,000				440,000	
				0					
計			8,859,000	8,859,000	0	8,419,000	0	440,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	40本	3,916,000	1,958,000	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある倒木を事前に伐採。
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市では、人工林率が25％となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼け防止や藻場再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。 しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善にもつながる。
事業実施により期待される効果	危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採（補助金）では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。 また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木が持つ温もりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組	危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。 また、広報誌（R8.6月号予定）および市ホームページにて、県民税に関するページを作成し、紙ベースだけでなくインターネットでも実績の周知を図った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	危険木伐採事業	24	6	30	B
2	2	危険木伐採費補助金事業	25	6	31	B
3	2	森林病虫害防除樹幹注入	25	6	31	B
4	4	鳥羽東中学校図書室机・椅子等整備事業	22	5	27	C

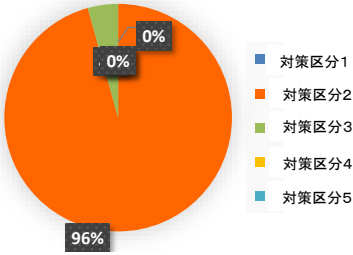
令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和7年度版三重県市町要覧による）

市町名	志摩市	三重県
人口（人）	41,239	1,700,207
年少人口割合（％）＊1	7.7%	11.1%
森林面積(ha)	9,090.91	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	9,088.66	348,212.01
森林率(%)	51.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	樹木伐採事業	12,414,600	6,560,100		6,560,100				
2	2	松くい虫防除事業	4,821,080	4,776,900		4,776,900				
3	3	森と緑ふれあい事業	509,300	509,000			509,000			
				0						
計			17,744,980	11,846,000	0	11,337,000	509,000	0	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業		3,735,600	3,734,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用が停滞し、森林病害虫の発生や農地や人家付近での獣害被害の増加が課題となっている。 このような状況を背景に、森林の有する多面的な機能に対する市民の理解を深めるため、体験型講習会等を通じ、里山保全の手法体験等を実施し、市民の森林保全意識の醸成を推進する。併せて適切な森林管理を通じて、災害に強い森林整備を推進していく。
事業実施により期待される効果	・体験型講習会等の開催を通じて、森林の多面的な機能に対する市民の関心を高めるとともに、保全手法の普及・啓発を図ることができた。 ・古くから海岸保全林および森林公園として地元住民に親しまれていた松林の適切な保全整備に繋がった。 ・特定水源地域において連携枠を活用した調整伐を実施し、水源涵養機能の維持に向けた森林整備を推進した。
情報発信への取組	事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置し、地元住民への周知を図っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	樹木伐採事業	21	4	25	C
2	2	松くい虫防除事業	23	4	27	C
3	3	森と緑ふれあい事業	23	5	28	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和7年度版三重県市町要覧による）

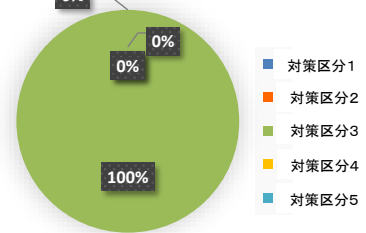
市町名	玉城町	三重県
人口（人）	14,695	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	13.1%	11.6%
森林面積(ha)	1,255.54	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	1,255.29	348,561.87
森林率(%)	30.6%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	26.4	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	3	森林環境教育・木育事業	552,294	552,000			552,000		
2	3	森林環境教育事業（森林教育イベント）	3,000,000	3,000,000			3,000,000		
計			3,552,294	3,552,000	0	0	3,552,000	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km ² でそのうち、森林面積は1,259.02haで森林率は31％と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90％を占めている。森林率が低いがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせることで、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。 このため、保育所や小学校で森林環境教育を実施した森はぐくむ人づくりを行ったり、森林をテーマにしたイベントを開催することで、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。
事業実施により期待される効果
森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。 また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらい、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。
情報発信への取組
町の広報誌（広報たまき）へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供（PR）した。 対象者はもとより、町民の方からも事業に対する理解の声をいただいた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	3	森林環境教育・木育事業	23	4	27	C
2	3	森林環境教育事業（森林教育イベント）	21	4	25	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

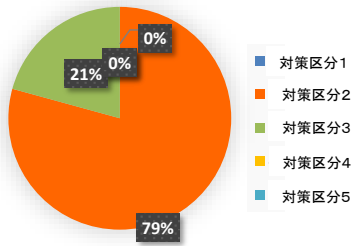
市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,580	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	10.7%	11.6%
森林面積(ha)	11,410.44	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	11,410.44	348,561.87
森林率(%)	85%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.2	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採事業	4,620,000	4,610,000		4,610,000			
2	3	森林環境教育推進事業	1,206,700	1,206,000			1,206,000		
				0					
計			5,826,700	5,816,000	0	4,610,000	1,206,000	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	10.45ha	6,270,000	6,200,000	間伐等（環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	589本	7,835,371	3,917,000	伐採施工、立木補償
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち、山林が83.7%を占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。 本県民税を財源に本町では、第7次度会町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりを進める。
事業実施により期待される効果
下流へ流出する恐れのある木を伐採・撤去することで、道路や下流域への災害の拡大が抑制され、安全性の向上が期待できる。 町内の約8割が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験を行うことで、森林の魅力に触れることをきっかけに、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める。
情報発信への取組
【全体】 ・年度当初に実施する事業を町HPに掲載した。年度末に実施した事業の写真を町HPに掲載した。 ・事業の内容を町広報紙に掲載した。 ・事業実施中にのぼり旗を設置して、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。 【危険木伐採】 地元地区へ作業前のお知らせと併せて、事業概要を記載したチラシと県民税のパンフレットを渡し、回覧板や掲示板で県民税を活用した取り組みであることを周知した。 【森林環境教育】 ・授業の内容を写真とともに町広報紙に掲載した。 ・授業実施後に受講者・先生・保護者に対してアンケートを実施した。 ・記者提供を行い、中日新聞（R7.10.2）に掲載してもらった。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	危険木伐採事業	23	6	29	B
2	3	森林環境教育推進事業	25	8	33	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

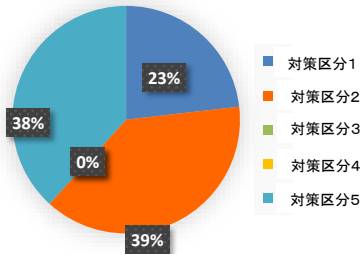
市町名	大紀町	三重県
人口（人）	6,808	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	5.9%	11.6%
森林面積(ha)	21,132	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	20,406	348,561.87
森林率(%)	91.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.9	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	1	渓流倒木等処理事業	3,003,000	3,003,000	3,003,000				
2	2	生活環境林整備事業	4,999,500	4,999,000		4,999,000			
3	5	大平つつじ山整備事業	4,959,900	4,955,000					4,955,000
				0					
計			12,962,400	12,957,000	3,003,000	4,999,000	0	0	4,955,000

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	—	—	—	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	142本	5,124,482	2,500,000	伐採調査441本、伐採施工142本、立木補償274本
県民参加の植樹祭事業	—	—	—	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	大紀町は、大台山系に連なる山岳地帯に属しており急峻な地形で、本町面積23,332haのうち森林面積が21,132haとなっており、91%を占めている。そのうち人工林が13,900haと人工林率は68%に達している人工林地帯である。本町では、基本方針1の「災害に強い森林づくり」を強力に進めるため、生活環境林整備事業と渓流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていくと共に、大雨時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させるため、河川上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことで、県民全体の安全安心に繋げていく。また、三重県の景勝地に指定されている『大平つつじ山』において、イベントや森林環境教育を行う場として整備を促進していく。
事業実施により期待される効果	渓流内倒木等の危険木や土砂を渓流外へ搬出及び流出対策を実施し、危険木が下流域へ流出すること及び、渓流外への越水等の影響を防ぐことで、災害の発生や増幅の可能性を低下させることにより、下流域住民の安全を図ると共に、倒木等の恐れがある危険木を除去することにより、地域住民や道路等施設利用者の安全を確保し、安全安心な住民生活の向上が期待できる。また、大平つつじ山の環境整備により、ツツジの開花状況が良くなり、利用者数が増加する。
情報発信への取組	事業実施については、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明したい。 事業実施中は、県民税のばりを事業箇所を立て、県民税での事業実施をPRしている。 事業完了、当年行った事業においてPRポスターを作成し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップ、町広報紙に掲載し税事業のPRを行う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	1	溪流倒木等処理事業	23	6	29	B
2	2	生活環境林整備事業	23	6	29	B
3	5	大平つつじ山整備事業	21	5	26	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

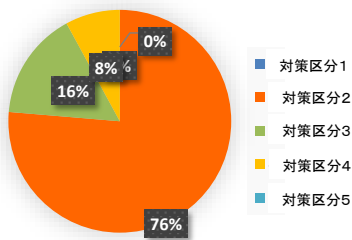
市町名	南伊勢町	三重県
人口（人）	10,039	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	5.4％	11.6％
森林面積(ha)	20,629.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	20,429.98	348,561.87
森林率(％)	85.0％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.2	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木除去事業	8,557,900	8,394,000		8,394,000			
2	3	森林環境教育事業	1,760,000	1,729,000			1,729,000		
3	4	三重県産材木 木製品購入事業	889,900	873,000				873,000	
				0					
計			11,207,800	10,996,000	0	8,394,000	1,729,000	873,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
当町の森林・林業を取り巻く情勢として、総土地面積の約85％（20,630ha）が森林で覆われているにもかかわらず、林業経営体は14経営体しかおらず、林業者が極めて少ない状況となっています。森林の整備についても、整備が行われていない森林が大半であり、森林所有者の関心が低くなっていることが窺えます。そのような状況の中、森林について興味関心が持てるように、公共施設周辺や通学路・避難道等にかかる危険木の除去や、森林環境教育事業による森や海を大切に思う子どもの育成、子どもや町民が森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的に県民税を活用する。
事業実施により期待される効果
危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、樹木について知識を得ることや木製品が身近にあることで森と緑の大切さを理解し、森林について考えるきっかけづくりへの寄与を期待している。 木製品購入事業については、日常的に木材製品とふれあうことにより、木製製品のあたたかみを感じることで保育環境の向上につながると考えている。
情報発信への取組
町の広報誌やHP等への掲載することにより、情報発信を行いました。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	危険木除去事業	23	5	28	B
2	3	森林環境教育事業	23	4	27	C
3	4	木製備品購入事業	23	4	27	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和7年度版三重県市町要覧による）

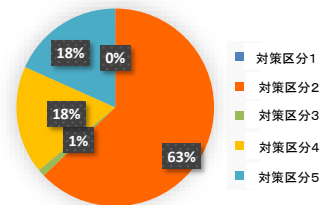
市町名	名張市	三重県
人口（人）	72,439	1,700,207
年少人口割合（％）＊1	11.0%	11.6%
森林面積(ha)	6,827.00	371,680.00
民有林面積(ha)＊2	6,827.00	348,561.87
森林率(％)	52.6%	64.3%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	14.1	11.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採事業	4,040,925	4,040,925		4,040,925			
2	2	未利用間伐材バイオマス利用 推進事業	62,075	62,075		62,075			
3	2	人家裏危険木伐採事業	820,000	820,000		820,000			
4	2	森林公園等環境活用整備事業	400,000	400,000		400,000			
5	3	森林環境教育推進事業	100,000	100,000			100,000		
6	4	学校林整備事業	700,000	700,000				700,000	
7	4	子ども若者第三の居場所創生 事業	792,000	792,000				792,000	
8	5	桜並木保全管理事業	400,000	400,000					400,000
9	5	国定公園環境整備事業	1,150,000	1,150,000					1,150,000
10		県産材を使った弓道場改修事 業（基金積立）	4,080,000	0					
計			12,545,000	8,465,000	0	5,323,000	100,000	1,492,000	1,550,000
									4,080,000

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	15.32ha	4,455,000	4,455,000	間伐作業（赤目町一ノ井、中知山、青蓮寺 地内）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	21本	2,000,000	2,000,000	伐採作業（矢川竜口、星川中村、後山、笹谷 線内）
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	名張市は、周囲を山々に囲まれた山間盆地であり、林野率は52.6％、人工林率は65.1％で、森林の主体をなす私有林においては、5ha未満の所有者が全体の52.1％を占めている。特に、南部は森林資源が豊富で、かつては優良な木材を産出する地域であったが、最近の社会情勢の変化に伴い伐採適齢期を過ぎてても放置されている森林が急増し、里山としての利用すらほとんどなくなっている。 しかし、森林の持つ多様な公益的機能は市民にとってかけがえのない財産であり、名張市が目指そうとする「福祉の理想郷づくり」には欠かせない重要な要素であることから、森林の機能低下を防ぎその向上を図るため、災害に強い森林づくりとして森林整備を進めるとともに、市民が森と緑に触れ合う機会を創出し、森を育む人及び学びの場づくりを進める。
事業実施により期待される効果	「災害に強い森林づくり」に沿った事業の実施により、あまり手入れされることなく放置され、市民の生活圏を脅かしていた森林が整備されたことで、市民がより安心して暮らせるようになる。また、森林への関心が高まる今日、「県民全体で森林を支える社会づくり」に沿った事業の実施により、森林環境教育を推進し、次代を担う子どもたちが森林や緑に対する関心を深めることで森林の重要な役割に気付くきっかけづくりとなる。
情報発信への取組	事業内容やその成果については広報誌及びHPにより、広く市民に周知している。また、事業実施現場にはのぼり旗や看板を設置することで、みえ森と緑の県民税の存在を最大限周知できるよう努めた。さらに小学校関連の事業については、教員、保護者、地域住民等もボランティアスタッフ等として広く参加を呼び掛け実施し、財源にはみえ森と緑の県民税が活用されていることを周知した。 その他、3月上旬から始まる確定申告にあわせ、名張市役所1階にみえ森と緑の県民税に関するパネルを展示した。また、パネル展示に併せてみえ森と緑の県民税に関するアンケートを設置し、回答いただいた方にクリアファイル・ハンカチ等のグッズを配布することで、市庁舎を訪れる大勢の方に向けて県民税の周知を行い、アンケート結果から今後の事業改善につなげていくことに努めた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・重要性は理解できるものの、情報発信や効果測定に工夫の余地ありと思われる事業が多くありました。インターネット等を使った発信もご検討ください。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	危険木伐採事業	23	4	27	C
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	20	4	24	C
3	2	人家裏危険木伐採事業	21	5	26	C
4	2	森林公園等環境活用整備事業	23	5	28	B
5	3	森林環境教育推進事業	22	5	27	C
6	4	学校林整備事業	23	5	28	B
7	4	子ども若者第三の居場所創生事業	21	5	26	C
8	5	桜並木保全管理事業	23	5	28	B
9	5	国定公園環境整備事業	23	4	27	C
10		基金積立				

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和7年度版三重県市町要覧による）

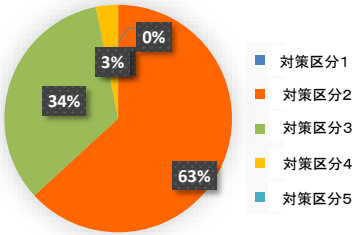
市町名	伊賀市	三重県
人口（人）	82,729	1,700,107
年少人口割合（％）＊1	9.9%	11.1%
森林面積(ha)	33,870.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	32,566.00	348,561.87
森林率(%)	60.7%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.8	10.9

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	7,808,505	7,808,505		7,808,505			
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	1,694,760	1,694,760		1,694,760			
3	2	危険木伐採事業	4,563,900	4,504,908		4,504,908			
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	3,893,014	3,893,014			3,893,014		
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	260,838	260,838			260,838		
6	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	500,000	500,000			500,000		
7	3	木づかい木育推進事業	2,810,746	2,810,746			2,810,746		
8	4	保育所木育推進事業	698,229	698,229				698,229	
計			22,229,992	22,171,000	0	14,008,173	7,464,598	698,229	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	調査115箇所、間伐40.98ha	13,641,100	13,640,500	現地調査及び間伐実施
災害からライフラインを守る事前伐採事業	調査1.41ha、伐採0.19ha	5,731,000	2,865,500	現地調査及び間伐実施
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
当市の森林面積率は61％であり、周囲が森林に囲まれた立地にある。そのような背景を踏まえ、災害に強い森林づくりと住民全体で森林を支える仕組みづくりの両立を図ることが必要であることから、暮らしに身近な森林を住民自らの手で整備する事業を推進しているとともに、木育を始めとして森林や緑を大切に思う人づくりに繋がる教育活動を支援する事業を推進している。
事業実施により期待される効果
里山整備や危険木伐採、間伐材の有効活用が進み、災害に強く安全な森林づくりと市民生活の安心確保が図られる。また、地域住民の主体的な活動やイベントを通じて、森林を支える人材や組織の育成が進み、地域のつながりが強化される。さらに、木育や学習機会の充実により、子どもから大人まで森林や木材への理解と関心が高まり、将来の担い手育成や森林資源の循環利用につながるなど、持続可能な地域づくりへの効果が期待できる。
情報発信への取組
本事業の情報発信においては、ホームページ掲載や行政チャンネル「ウィークリー伊賀市」による周知を通じて、事業の目的や概要、県民税を財源としていることを広く発信した。また、市役所玄関でのパネル展示やアンケート設置、施工看板やのぼり旗の掲出により、来庁者や地域住民へ視覚的にPRを行った。さらに、学校へのチラシ配布や学校だよりへの掲載により、児童生徒や保護者にも周知を図り、多様な媒体を活用した効果的な情報発信に取り組んだ。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・各地区の創意工夫の余地が大きい補助をなさっていて、良い方法だと思いました。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	23	5	28	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	21	5	26	C
3	2	危険木伐採事業	24	4	28	B
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	23	6	29	B
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	21	5	26	C
6	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	23	6	29	B
7	3	木づかい木育推進事業	23	6	29	B
8	4	保育所木育推進事業	24	6	30	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和7年度版三重県市町要覧による）

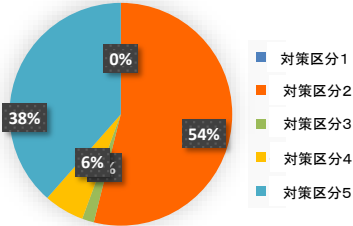
市町名	尾鷲市	三重県
人口（人）	14,295	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	7.7%	11.6%
森林面積(ha)	17,703.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	15,080.00	348,561.87
森林率(%)	92.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	4.47	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	人家裏危険木伐採事業	1,599,000	1,599,000		1,599,000			
2	2	三木里海岸の松原整備事業	2,953,500	2,953,500		2,953,500			
3	2	三木里海岸の松原内墓地危険木伐採事業	488,400	488,400		488,400			
4	3	尾鷲ヒノキ等を活用した保育園児等への山育事業	161,284	161,284			161,284		
5	4	木とふれあう学校環境づくり事業	172,260	172,260				172,260	
6	4	みえ森林教育ステーションを活用した木育事業	375,100	375,100				375,100	
7	5	馬越公園整備事業	1,133,000	1,133,000					1,133,000
8	5	中村山公園ほか整備事業	2,468,900	2,468,900					2,468,900
計			9,351,444	9,351,444	0	5,040,900	161,284	547,360	3,601,900

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	146本	4,149,200	2,074,600	
県民参加の植樹祭事業	1回	247,856	247,856	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	近年では、災害による被害が拡大傾向にあるうえ、尾鷲市は住宅地と森林が隣接しており、山地災害が市民生活に直結するため、災害に強い森林づくりは大変重要なものであると考えている。また、危険木等を伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用することとし、災害対策と森林教育推進の観点から事業の選定を実施している。
事業実施により期待される効果	人家裏や公園の危険木伐採は、災害に強い町づくりの推進に一定の効果が得られた。この点については、事業実施後の住民の反応や声をみても、いずれも好意的なものであったため、安心安全の確保に効果があったと感じている。また、保育、教育の現場に地元産材でつくられた木製品を導入したり、地域の木や自然とふれあう場を創出することで、地域の自然環境や林業への理解を深めるとともに、地元産材の利活用について学習する機会となった。
情報発信への取組	ホームページや広報誌での情報発信を行い、市内に広く周知することができた。危険木除去等では伐採した箇所に看板を設置したほか、山育を行った保育所等においては、保護者だよりに活動の様子の掲載を行ったため、一定の周知は図れたと思う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	人家裏危険木伐採事業	23	5	28	B
2	2	三木里海岸の松原整備事業	23	5	28	B
3	2	三木里海岸の松原内墓地危険木伐採事業	22	5	27	C
4	3	尾鷲ヒノキ等を活用した保育園児等への山育事業	24	7	31	B
5	4	木とふれあう学校環境づくり事業	25	7	32	B
6	4	みえ森林教育ステーションを活用した木育事業	21	5	26	C
7	5	馬越公園整備事業	23	5	28	B
8	5	中村山公園ほか整備事業	23	5	28	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

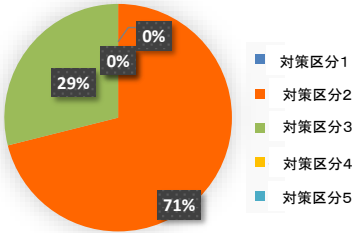
市町名	紀北町	三重県
人口（人）	13,288	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	7.0%	11.6%
森林面積(ha)	22,932.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	18,007.88	348,561.87
森林率(%)	87.7%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	52.1	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	6,179,500	6,179,500		6,179,500				
2	2	集落周辺森林（里山）整備事業	333,600	333,600		333,600				
3	3	森林環境教育活動支援事業	2,650,061	2,650,061			2,650,061			
4	4	みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	1,885,839	1,885,839						1,885,839
				0						
計			11,049,000	11,049,000	0	6,513,100	2,650,061	0	0	1,885,839

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	町民の安全・安心を守る暮らしに身近な森林づくりと、次世代を担う子どもたちが森林の大切さを学ぶ機会の創出
事業実施により期待される効果	危険木伐採事業では、事業実施主体である各区の森林管理の意識の向上が見られ、補助金活用の要望が増加し、集落周辺里山整備事業では事業主体の森林整備を行う様子や、新たな林内歩道が整備されている様子をSNS等で広く周知することで、整備を行った森林へ入る住民の安全性の向上が図られた。 また、森林環境教育では山、川、海を森林を起因とした一つのフィールドととらえ「紀北ネイチャラポ」を実施し、参加した生徒らの自然に対する興味、関心と危険性の認知の向上が図られ、緑の植樹活動事業では植樹イベントへ参加した町民及び来訪者等に緑を身近に感じる機会の創出を図り、森林に対する興味、関心が高まった。
情報発信への取組	紀北パーキングエリア内の始神テラスの一角や、町内イベントブースに展示スペースを設け事業成果を示したパネル展示や、ノベルティの配布を行った。また、町民向けの行政放送テレビチャンネルで県民税について取り扱いを行い、事業実施地にはPR用の木製標柱を設置した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	危険木伐採事業	24	5	29	B
2	2	集落周辺森林(里山) 整備事業	23	5	28	B
3	3	森林環境教育活動支援事業	23	6	29	B
4		基金積立				

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5

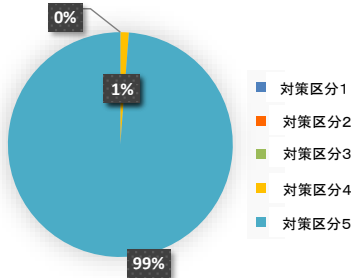
1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

市町名	熊野市	三重県
人口（人）	14,216	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	8.8%	11.6%
森林面積(ha)	32,942.33	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	29,628.77	348,561.87
森林率(%)	88.0%	64%
都市公園面積(㎡/人口)＊3	13.2	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	4	木育環境充実事業	165,000	165,000				165,000	
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	13,414,498	13,414,498					13,414,498
				0					
計			13,414,498	13,414,498	0	0	0	165,000	13,414,498

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	2.49ha	2,921,600	2,921,600	災害緩衝林実施箇所周辺の調整伐
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	熊野市の地勢は内陸に向かうに従って紀伊山地の急峻な山地となり、森林面積は総面積の88%を占めている。また、民有林面積は29,000ha超と全森林の約90%を占め、うち人工林は22,000ha超と県下でも有数の林業地域である。しかしながら、林業を取り巻く環境は木材の長期的な低迷に加え、担い手の減少、林業従事者の高齢化、生産基盤の立ち遅れ等が極めて厳しく、このまま推移すれば森林の整備水準の低下等により公益的機能が十分に発揮されないなど、住民生活への影響が懸念されている。そのため、「災害に強い森林づくりと環境林の保全」という熊野市森林・林業ビジョンの基本方針の1つに沿って、防災機能の強化による安全・安心の実現、里山林整備と奥地天然林や溪畔林の保全、身近な森林の恵みを活用する環境づくりなど、森林が与えてくれるさまざまな恩恵を評価した上で、森林と積極的に付き合っていく取組を展開していく。令和7年度については、貴重な地域資源として平成30年度から市が取り組んできたクマノザクラの保全と活用を一層進めるべく、森林公園や小学校の校庭への植栽のほか、地域資源としての価値の高い1本桜の治療を行った。また、多くの利用者が継続して利用している身近な熊野古道や森林公園に対し、木製サインの整備や枯損木の撤去など、多くの利用者・来訪者に緑を身近に感じてもらう環境づくりを維持・強化することができた。さらには、都市公園内に所在する木育施設へ地元産材を使用した木製ボールプールを整備することにより、より一層幅広い年代の利用者が木にふれあうことのできるよう機能強化を図った。
事業実施により期待される効果	市が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業を行うことにより、安全・安心に地元の森林や自然とふれあう環境を整備することができ、市民だけでなく市への来訪者にも恩恵を受けてもらう。
情報発信への取組	事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、広い市域の中にあって事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、市のホームページに事業の計画と実績の紹介へ市の玄関口であるJR熊野市駅や市街地に近い市文化交流センターにおいて例年パネル展示を行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ユニークな事業に本税をあててくださり、良い使われ方だと思いました。ネット等での情報発信もご検討ください。	

6. 事業別評価表

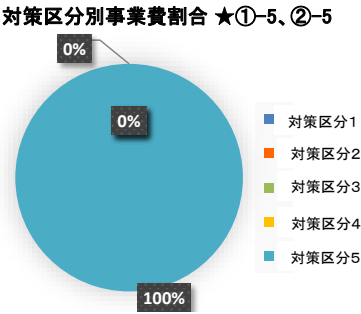
番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	4	木育環境充実事業	25	4	29	B
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	25	5	30	B

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

市町名	御浜町	三重県
人口（人）	7,580	1,742,703
年少人口割合（％）＊1	9.7%	11.6%
森林面積(ha)	5,696.85	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	5,603.74	348,561.87
森林率(%)	65.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	22.0	10.6

- ＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	森林公園等環境整備事業	6,165,635	6,162,688					6,162,688	
2	5	イヌマキ保全事業	137,312	137,312					137,312	
計			6,302,947	6,300,000	0	0	0	0	6,300,000	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町は、県南部に位置し、東部は雄大な太平洋熊野灘に面した海岸線沿いには、比較的平坦な低地が広がりますが、内陸部では山岳地帯を形成しており、人工林率は71%と県平均の62%を上回っていて、かつては積極的に植林がされてきた地域です。しかし林業経営の悪化などから森林への関心は薄れ、適切な整備がされず森林が持つ公益的機能が十分に発揮でいる状態ではない森林も見受けられます。 このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、森林公園等のフィールド整備や三重県天然記念物の文化財に指定されている「神木のイヌマキ」を保全管理することで、住民が木や緑とふれあう環境を身近なものにしていきます。また、木の良さや木を使うことが森林整備につながることの重要性を広くPRしていく「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めます。
事業実施により期待される効果	町民や来訪者に利用される遊歩道及び公園を整備することで、多くの人が森林や緑と触れ合う機会をつくることができた。寺谷総合公園を遠足先とする小学校もあり、また家族の利用者も多いため、地域の子供たちが森林にふれる環境をつくることができた。
情報発信への取組	町民や施設利用者へ県民税を活用して整備が行われていることを周知するため、作業期間中に県民税ののぼり等の設置、庁舎内でのパネル掲示、広報掲載などを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・インターネットを使った情報発信も積極的にお願いしたいと思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	5	森林公園等環境整備事業	24	4	28	B
2	5	イヌマキ保全事業	23	4	27	C

令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和5年度版三重県市町要覧による）

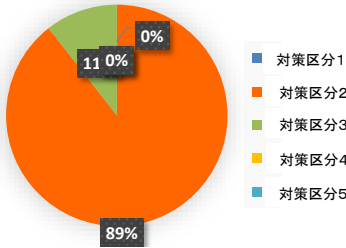
市町名	紀宝町	三重県
人口（人）	9,592	1,700,207
年少人口割合（％）＊1	10.6％	11.1％
森林面積(ha)	6,071.30	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	6,026.59	348,212.01
森林率(％)	76.0％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	生活環境林整備事業	6,790,894	6,771,000		6,771,000			
2	3	森と緑の環境教育事業	800,000	800,000			800,000		
計			7,590,894	7,571,000	0	6,771,000	800,000	0	0

3. 令和7年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	2.55ha	2,000,900	2,000,000	災害緩衝林実施個所周辺の調整伐、調査
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	みえ森と緑の県民税市町交付金においては、森林環境譲与税を財源とした森林施策とすみ分けをおこないながら、町の森林主要施策としての重要財源と位置づけて活用していく。
事業実施により期待される効果	当町が公益性の判断のもと実施する事業においては、特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に影響を及ぼすものが多く、町民のみならず周辺の県民が恩恵を受けている。
情報発信への取組	各種集客イベントの際、県民税のPRをチラシの配布により行っている。また、登り旗の掲示も行った。その他、町ホームページ、役場庁舎内においてのパンフレットの配布などを実施。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・取組の重要性を理解できるように、事業についての記述がもう少し詳細になっていると助かります。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価点			評価
			事業内容（32）	情報発信（8）	合計（40）	
1	2	生活環境林整備事業	23	4	27	C
2	3	森と緑の環境教育事業	23	5	28	B